

英語科学習指導案

(習熟度別少人数指導)

2017年10月31日 3限目
3年1組 のびのびコース 20名
指導者 佐々木 真也

1. 題材 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3

Program 7 What is the most important thing to you?

2. 題材設定の理由

3年生の英語科の授業は習熟度別少人数指導を行っている。本学級のこのコースの生徒は、1年次から変わることなく授業中大きな声で発音したり、進んで発表したりすることができている。また、單元ごとに様々な活動をしているが、どんな難しい課題にもあきらめず挑戦し、課題の中で楽しんで活動しようとする姿が見られる。特に、自分の考えを表現するような場面では既習事項の英語を使って積極的に表現しようとする生徒がほとんどである。しかし、若干名そのような活動を苦手としている生徒もいるので、表現活動をする際は、選択肢を多く準備したり、教え合いながら学習できるよう工夫したりしながらやっていきたい。

本題材は、本当に意味のある国際協力をめざして、世界中でボランティア活動を行って途上国を支援し、また途上国のために働く意欲のある人材育成への取り組みを続ける国際協力師、山本敏晴さんの活動について学ぶ。そのうち、特に山本さんが取り組んでいる「お絵描きイベント」を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を見ると同時に、自分の国に夢や希望を持って生きる子どもたちの描いた絵に込められた力強いメッセージを通して、本当の国際協力とは何か、また私たち一人ひとりに何ができるのかを考えさせることができる。今回は言語材料として、関係代名詞 **who** (主格), **which** (主格), **that** (主格) を扱う。

指導にあたっては、表現活動に必要な語句を習得させるため、単語の発音練習、教科書本文の音読練習を繰り返し行っていく。特に音読練習に関しては、**Read and Look up** やペア活動をするなどしながら、変化を持たせて行っていく。その中で、自然と英作文において必要とされる言語感覚を身につけさせたい。また、効果的に表現活動を行うため、本文の日本語を見て瞬時に英語にできるという状態を作っておきたい。特に、今回は関係代名詞を扱うので、定着を図るために様々な活動を仕組んでいきたい。

3. 単元目標

(1) ペアワークや表現活動などに積極的に取り組み、間違えることを恐れず話すことができる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) ①人について詳しく説明する言い方ができる。(関係代名詞 **who**)

②ものについて詳しく説明する言い方ができる。(関係代名詞 **which**) 【外国語表現の能力】

(3) 関係代名詞 (**who, which, that**) の正しい使い方を理解している。

【言語や文化についての知識】

4. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心意欲態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
○言語活動への取組 ①聞き手が理解しやすいように工夫して話している。 ○コミュニケーションの継続 ②相手の話に相槌を打ち、話を聞いている。	○正確な発話 ①強勢、抑揚、発音などに注意して、自分の考えや意見を相手に正確に伝わるように話すことができる。	○正確な聞き取り 相手の内容を正しく聞き取ることができる。	○言語についての知識 ① 強勢、抑揚、区切りなどのちがいを身に付けている。 ②語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。

5. 指導計画（7時間）

時	めあて・学習活動	評価規準との関連	評価等
1	めあて:人についてくわしく説明する言い方ができるようにしよう。 ○Program 7-1 関係代名詞 (who) の理解、演習	ウ エ②	学習の様子の観察
2	めあて: 関係代名詞を使って、職業を定義しよう。 ○Program 7-1 関係代名詞 (who) を用いた活動 (本時)	ア① ア② イ エ②	授業観察
3	めあて:宇宙船地球号のゴールを知ろう。 ○Program 7-1 語彙や本文の理解、使用と、関係代名詞 who について理解を深める	ア① イ エ① エ②	ワークシートの確認 学習の様子の観察
4	めあて:ものについてくわしく説明する言い方ができるようにしよう。 ○Program 7-2 関係代名詞(which)の理解、演習	ウ エ②	学習の様子の観察
5	めあて:ミハエラさんにとってもっとも大切なものは何だろうか。 ○Program 7-2 語彙や本文の理解、使用と、関係代名詞(which)についての理解を深める	ア① イ エ① エ②	ワークシートの確認 学習の様子の観察
6	めあて:人やものについて説明する別の言い方ができるようになろう。 ○Program 7-3 関係代名詞(that)の理解、演習	ウ エ②	学習の様子の観察
7	めあて:プロジェクトを通して、子どもたちは何を学んだのだろうか。 ○Program 7-3 語彙や本文の理解、使用と、関係代名詞(that)についての理解を深める	ア① イ エ① エ②	ワークシートの確認 学習の様子の観察

6. 本時案

(1) 題目

関係代名詞を使って、(自分たちなりに) 職業を定義しよう。

(2) 主眼

関係代名詞 who(主格)を様々な活動の中で使用することで、理解を深め、英作文を書けるようになる。

(4) 展開

学習活動	時	指導及び支援	評価
1.greeting	2	○あいさつをし、本日の調子を尋ねたり、曜日、天気の確認をする	
2.warm up	5 10	○”I like your ~”の活動で、ペアで会話をさせる × 2回 ・肩と肩を向き合わせて会話する ○グループ対抗で「まとめ語クイズ」に取り組みせる（4問）	
3. review	3	○関係代名詞 who（主格）の使い方を確認させる。	
4 .today’s objective	3	めあて：関係代名詞を使って、（自分たちなりに）職業を定義しよう。	
5. activity	8	○パワーポイントを使い、職業当てクイズに取り組みせる（3問）	
	8	○グループで「政治家」について定義させる。 ・グループで自由に考え、ホワイトボードに書く	・主格の関係代名詞を使って、正しく文が書けているか。
	3	○黒板にホワイトボードを貼り、共有させる。	
6. conclusion	8	○英語伝言ゲームで、班で協力して、関係代名詞の文を完成させる。	